

『ふるむ・マラウイ』～はこぶ～

1st /January/2013 第32号

Muli bwanji ! (ムリブワンジ：チェワ語でこんにちは、ご機嫌いかがの意)

マラウイでは、水や燃料用の薪を運ぶ女性をよく目にします。女性が頭の上にものを載せて歩いている様子は、アフリカを連想する風景の一つでしょう。なみなみと水を入れたタライや推定30kg以上はある薪の束を運んでいます。子供もお手伝いで小さなものを運んでいます。小さい時からお手伝いをしているからなのか、絶妙なバランスで運ぶのはいつも感心してしまいます。マラウイでは、各所で井戸が設けられ、安全な水の確保と水くみ労働の軽減が図られてはいますが、水くみの仕事は女性にとって大切な仕事と同時に大変な仕事の一つです。



農業用水路を使って洗い物



燃料用の薪を運ぶ



芸術的積み込み(その2)

ガソリンスタンドで見かけた、やり過ぎな積み込み。高さは約3m。でもマラウイでは普通です。引っ越しのために家財道具全てを積んでいます。



芸術的積み込み(その1)

村から街に薪を売りに行くそうです。かえって運ぶのがたいへんそう

マラウイで運搬手段の多くは自転車を使うことが多く、一度に出来るだけ多く運ぼうとしてもものすごい積み方になります。写真では、薪ですが、時には豚やヤギも運んでいることもあります。

もちろん、車でも運びます。燃料が高いため何回も往復するという事はしません。マラウイには最大積載量 = 積めるだけということになっているようです。